

貫通日本語

Http://www.kantsuu.com

[11] 2007年7月1日出版
VOL.11

双月刊 总第 11 期

中日双语·有声杂志

文苑

キミと羽ばたく日 —— 与你牵手的那一天

速听的耳朵 聚焦考级听力

2004年日本語能力試験聴解2級・問題Ⅱ

留学日本

鳥取大学概要 —— 鸟取大学简介

动漫频道

涼宮ハルヒの憂鬱

凉宫春日的忧郁

求职快递

日本企業に就職する (一)・ビジネスマナー
日企就职 (一)・商务礼仪

新上市



卡西欧
电子辞典

日英汉

EW-V3600L

- 新编现代日语外来语词典
- 新明解国语辞典(第五版)
- 广辞苑(第五版)
- 逆引き广辞苑(第五版对应)
- 日汉大辞典
- クラウン中日辞典
- 柯林斯COBUILD英汉双解词典
- 汉英大词典(第二版)
- 现代汉语大词典(上、下册)
- 大学英语词汇手册
- 日语会话2册:(收录真人发音会话集)
- 实战职场商用日语+日中英生活工作口语大全



背光显示



©Tezuka Productions • SPEJ

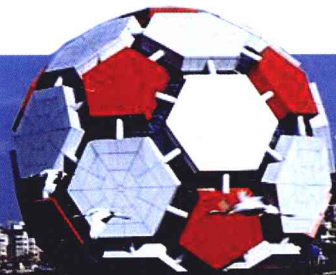
*本电子辞典完整收录了各辞书中的词条、解释、例句(不包含各辞书中的表格、图片、CD及部分附录)

权威辞书·完整收录

www.casio.com.cn/dic

体验东瀛文化

畅游浪漫之都



2007 《贯通日本语》暑期夏令营简章

报名时间: 截至7月20日

报名地点: 大连理工大学出版社《贯通日本语》编辑部

电话: 0411-84707956

传真: 0411-84707956

电子信箱: yinxiang@dutp.cn

报名费用: 1200元/人(含讲座听课费、4天住宿费、3天餐费、旅游景点第一门票费、导游费、旅游包车费、参观费、活动费等)。往返路费自理,我们负责代订车、船、机票。赠送夏令营营服、营帽一套。全程DV拍摄,为每位参加者免费赠送刻录光盘一张,留作纪念。

活动安排: 2007年8月3日~7日

8月3日 **报到,晚上开营会。**

8月4日 **日语讲座**

聘请日籍教师及有多年日本留学经验的人员担任主讲,讲述日本社会礼仪、日企就职商务礼仪、日本生活常识等。

体验日本传统文化

联合日本驻沈阳总领事馆大连住在所、中日文化交流中心举办日本风情表演,由专门讲师指导学生体验花道、茶道、书道等日本传统文化。

8月5日 **大连一日游**

游览亚洲最大的广场——星海广场,百年城雕,华表,俄罗斯风情一条街。畅游滨海路,欣赏傅家庄、燕窝岭、老虎滩等沿线的旖旎风光。看天海一线,享受大海的拥抱。海滩自助烧烤,篝火晚会。大量丰富多彩的节目等着您。日籍友人全程陪同,每个人都可以拥有这份体验日语的机会。

8月6日 **参观日企**

大连的日语学习氛围、日企就业环境享誉全国。作为全国最大的对日软件外包基地,被国家列为软件产业的示范城市。主办方将联络在连的日本高科技企业和知名高校,带领夏令营团员参观学习,为今后打算来连发展及进入日企工作做以准备。

8月7日 **返程**

结束愉快的夏令营之旅。

报名方式: 详见大连理工大学出版社网站 <http://www.dutp.com.cn/>

或《贯通日本语》博客 <http://blog.sina.com.cn/u/1250220667>



わたし いちまい かみ みだ す
私は一枚の紙でも妄りに捨てたくなく、

いつも残して、残して、

一つ一つ小さい船に折畳み、

舟から海へ放り込んでおく。

かぜ ふね まど ふ ま
風で舟の窓に吹き巻かれるものもあるし、

うみ なみ ぬ せんしゆ は
海の浪に濡られ、船首に貼られるものもあるが、

がっかりすることなく、日々を重ねて折畳み、

ひとつでも往かせたい所まで流れるのを望んでいる。

お母さん、もしも夢に一つの小さい白い船が見えたら、

いわれなく夢に出てきたと驚かないでください。

それは、あなたの最愛の娘が涙ぐんで折畳み、

はるばるかのじょ あい ひ あい の かえ たく
遥々彼女の愛と悲哀を載せて帰るよう託したものだ。

(尹庆俊)

紙 船

——母親宛

纸 船

——寄母亲

我从不肯妄弃了一张纸，
总是留着——留着，
叠成一只一只很小的船儿，
从舟上抛下到海里。
有的被风吹卷到舟中的窗里，
有的被海浪打湿，沾在船头上。
我仍是不灰心的每天的叠着，
总希望有一只能流到我要它到的地方去。
母亲，倘若你梦中看见一只很小的白船儿，
不要惊讶它无端入梦。
这是你至爱的女儿含着泪叠的，
万水千山，求它载着她的爱和悲哀归去。

(冰心)

背景：冰心在留洋的轮船上写的思念母亲的诗)

贯通日本語

赠书券

集齐六张此券，
即可获赠精美日语图书一本

主办单位：大连理工大学出版社

大连理工大学电子音像出版社

贯通日本语网站

<http://www.kantsuu.com/>

执行主编：遼东敏

责任编辑：海迎新

责任校对：刘畅

特约编辑：坪谷奈月(日) 清水博行(日)

特约审稿：孙成志

设计总监：季 强

发行总监：邓正高

广告经营许可证号：001047

ISRC CN-Q08-07-0058-0/A·G4

《贯通日本语》

编辑部 地址：大连市甘井子区软件园路80号

理工科技园B座 116023

电话：0411-84707956

传真：0411-84707956

发行部 电话：0411-84708842

传真：0411-84701466

邮购部 电话：0411-84703636

传真：0411-84701466

网 址 <http://www.dutp.cn/>

<http://www.kantsuu.com/>

信 箱 yinxiang@dutp.cn

印刷：大连金华光彩色印刷有限公司

出版日期：2007.7

定价：15.80元(附赠MP3光盘)

卷首语

文化之旅

- 04 日本采风 繁华街の百円ビル —— 繁华街百元大楼
「九十九谷」の絶景 —— “九十九谷”美景
「宿坊」と「写経合コン」 —— “寺内住宿”与“写经联谊”
- 07 文苑 キミと羽ばたく日 —— 与你牵手的那一天

学行天下

- 18 语言部落 肖老师信箱·形式名词及其派生的句型(连载) —— 关于「こと」的用法(四)
关于句型「すにはいられない」、「ずにはすまない」、「ずにはおかない」的区别
- 23 日语小百科 令人头疼的“町”字读法
有趣谐音纪念日
“一人”与“独り”
“HEBON式”和“日本式”
- 25 速听的耳朵 新闻集锦
听故事学日语·ごん狐——全狐
轻松对话10分钟
聚焦考级听力·2004年日本語能力試験聴解2級・問題Ⅱ
- 38 考情看板 2006年日语能力考试三级试题讲解(下)
- 50 留学日本 分かりやすい日本文化·千叶(2) —— 通俗易懂的日本文化·千叶(2)
鳥取大学概要——鳥取大学简介
- 53 开心漫画学日语 文真兄弟故事系列·信任する —— 信任

C O N T E N T

本期杂志部分稿件由日本“东京流行通讯网”友情提供。

编辑委员会

主任 张祎

副主任 肖厚国 张宏亮

委员

吕磊 池田麻理 李慧
卓凡 坪谷奈月 吴伟民
季晓骏 桂燕姬 清水博行
常佳宁 朱嫣

贯通日本語

か ん つ う に ほ ん ご

娱乐几何

- 54 歌吧 七つの海を渡る風のように —— 犹如掠过七海之风
56 动漫频道 凉宫ハルヒの憂鬱 —— 凉宫春日的忧郁
62 经典日剧对白 バージンロード —— 通向婚纱之路
70 星星耀闻 映画鑑賞を超えて —— 超越电影之上

都市风景

- 71 东京时尚 おからこんにゃく —— 豆腐渣魔芋糕
新しいオンラインコミック雑誌 —— 新网络漫画杂志
目覚しい時計と鬼ごっこ —— 捉迷藏闹钟上市
74 求职快递 日本企業に就職する(一)・ビジネスマナー
—— 日企就职(一)・商务礼仪
75 数码E族 世界最小のICチップ —— 世界最小IC芯片
ヒューマン・プレイヤー —— 奇趣人物播放器

读者园地

- 77 交友专栏
80 翻译擂台

[11] 2007年7月1日出版
VOL 11

双月刊 总第11期
中日双语·有声杂志

杂志QQ群: 1号、2号、3号已满, 4号(34881075), 5号(35413206)

杂志博客:

<http://blog.sina.com.cn/u/1250220667>

銀座といえば本来は優雅でリッチなものの代名詞だが、驚いたことに、まさにこの銀座に「100円アミューズメントビル」が出現した。しかも24時間営業である。このビックリニュースに若者たちは狂喜し、おばさま方も腰を抜かしている。

「US.MART 銀座店」と名づけられたこのビルは、東京都中央区銀座3-11-15にあり、都営浅草線などの地下鉄東銀座駅のA7出口を出てすぐである。

入口で315円を払って会員カードを作れば店に入ることができる。100円で15分間自由に遊ぶことができる。6階はゲームフロアで、卓球、ダーツ、ビリヤードなど多彩な施設が揃っている。4階と5階は漫画カフェとインターネットカフェで、ほかに自動マッサーJ機も備えてある。また5階にはのっつのペア席がある。2階には一分100円の床屋があり、客が指定した時間内にカットやカラーリングなどを自由にしてもらえる。1階は100円ショップで、いろいろな文房具、食品、生活雑貨などすべてが100円である。地下1階はなんと釣り堀である！ここでは500円で釣竿など道具一式を借りることができる。終電に乗り遅れたサラリーマンは、家に帰るタクシー代を節約してここで気晴らしをして過ごすのもまた一興かもしれない。

この驚異の企画をしたのは、三重県で100円ショップを経営するUS.MARTだ。US.MARTの田口社長は言う。「現代は、安いものを提供するだけでは顧客を満足させられない時代です。でも、もし銀座に釣り堀や百円床屋ができたらどうだろう？そんなおもしろい考えからこの店は生まれました。銀座の高級店の紙袋をさげたお客様がいらっしやるのをお待ちしています」。

文字难度指数★★★★☆

はんかがい ひゃくえん 繁華街の百円ビル

繁华街百元大楼

东京銀座，例来就是高雅和富贵的代名词。可是谁能想到，就是在銀座，竟然出现了一幢“100日元娱乐楼”，而且是24小时营业。这喜讯令年轻人们欢呼雀跃，也令欧巴桑们吃惊不小。

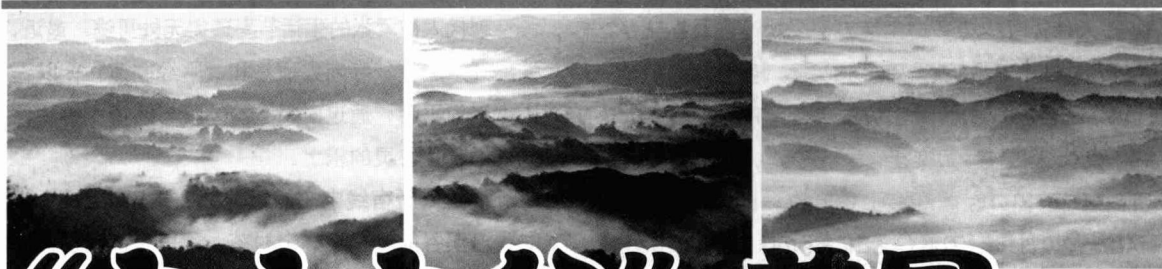
这座被命名为“US.MART銀座店”的大楼，位于东京都中央区銀座3-11-15号，乘都営浅草线等地铁到东銀座车站，下车后从A7出口上来就到了。

在入口交315日元办理一张会员卡，凭这张卡进店，只要100日元便可以自由地玩上15分钟。6楼是游戏厅，桌球、飞标、弹子机等五花八门，样样俱全；4至5楼，是漫画咖啡厅和网吧咖啡厅，里面设有自动按摩椅等。5楼还设有6个“情侣座位”；2楼，是1分钟100日元的理发室，根据您所指定的时间，可随意理发，染发等；



1楼为100日元商场，各种文具，食品、生活杂货全部为100日元；地下1楼，居然藏着一个钓鱼厅！在这里，花500日元可租到包括鱼竿等在内的全套设备。对于错过了末班车的上班族来说，节省回家的计程车费，在这里散散心，也是个不错的选择。

推出这个惊人企划的，是三重县以经营100日元专卖店为主的US.MART公司。该公司的田口社长说：“现在是一个仅仅提供便宜商品已不能满足顾客要求的时代，但是如果在銀座建个钓鱼场或百元理发店会怎么样？这家地店铺正是基于这个有趣的想法而诞生的。期待着能有更多手提銀座高档店铺纸袋的客户光临”。



“九十九谷” 美景

「九十九谷」の絶景

文字难度指数★★★★☆

無数に連なる山並みと、ゆっくり漂う霧。夜の闇が溶けて朝の光が浮かび上がる。まるで墨絵のような光景が見る者を夢の世界に運び、寒さも時が経つのも忘れてしまう。

千葉県房総丘陵の、どこまでも連なる山と霧が作り出す幻想的な景観は、日本全国でも有名な「九十九谷」の絶景である。二十年前に「房総の魅力500選」の一つに選ばれた。明治時代の文人、大町桂月が「天下の奇観」と絶賛し、中国でも知らない者のいない高名な画家、東山魁夷の出世作「残照」はこの風景から得た感動を元に描いたと言われる。

東京都心から車で走らせ「東京湾アクアライン」を経て約1時間で、この桃源郷のような名所に着く。東に清澄山（標高377メートル）、南に高岩山（標高315メートル）、西に鋸山（標高329メートル）と、四方を山並みに囲まれた九十九谷丘陵。毎年秋から冬にかけて、雲海や朝焼け、夕焼けに映える絶景は見応えがある。特に雨上がりの寒い朝は雲海と濃霧が美しく、その白濁した色に朝日のオレンジ色が混ざると化学反応を起こしたように色彩がはじけ、まぶしい光が周囲を圧倒する。

紅葉の季節は鹿野山の白鳥神社下の公園からの眺望が、緑と赤の鮮やかなコントラストによって、徐々に山全体が真っ赤に染められていき、自然の「大いなる筆」の力を感じさせられる。

千层山，万重霧。茫茫夜色融尽，黎明晨曦浮现。这水墨画般的世界，令人神往。忘却了时间，忘却了寒冷。

千叶县的房总丘陵，那绵绵无尽的山脉和雾霭所创出的奇幻景观，便是东瀛十分著名的“九十九谷”美景。于20年前被选定为“房总的魅力500选”之一。明治时代的文人大町桂月，曾赞其为“天下奇观”。而在中国也广为人知的著名画家东山魁夷，其成名作《残照》，便是从此获得灵感，并以此风景为原形创造出的。

从东京市中心的大手町，开车经“东京湾 Aqua-Line”，约1小时左右便能抵达这世外桃源般的胜境。“九十九谷”丘陵四面环山，东临清澄山（海拔377米），南朝高岩山（海拔315米），西面锯山（海拔329米）。每逢深秋入冬，云海映着霞光，绝景不容错过。那雨后清冷的早晨，云海和浓雾更是美不胜收。浊白之中，搀杂着朝阳的橘色，仿佛化学反应一般，色彩四溢，耀眼的光焰压倒四周。

而红叶时节，从鹿野山天鹅神社下的公园远眺，绿色和红色形成了鲜明的对比，随后逐渐将整个山体染红，这便是令人不由感叹自然的“大手笔”之作。

げんだいじん おお せいかつ のが
現代人はストレスの多い生活パターンから逃れることができない。そんな日本で最近、「宿坊」と「写経合コン」が流行している。舞台となるのは深山の古寺で、宗教体験と悟り

げんだいじん たましい らくど
によって現代人に魂の楽土をもたらそうというわけである。

せいぶ しんじゅくせん はんのうえき やくいち じかん けいこく そ
西武新宿線の飯能駅からバスで約一時間、溪谷に沿って行くと一つの村にたどり着く。そこにあるのは曹洞宗福王山しょうがくじ しゅくはくざぜん おこな しゅくぼう と
正覚寺で、宿泊座禅を行っている。宿坊に泊まると、午後5時から座禅が始まる。まずビデオでやり方を学び、それから住職の指導の下、40分間の座禅を行う。住職は棒も ざぜん く ひとびと はいご い き しゅうちゅうを持って、座禅を組む人々の背後を行ったり来たりし、集中できない人には棒を使って「喝」を与える。

ざぜん お じ やくせき ゆうしょく あた じ
座禅が終わると、6時から「薬石」(夕食)が与えられ、7時には「開浴」(入浴)し、9時に「開枕」(就寝)する。翌日

现代人被紧张的生活节奏逼得无处可逃。最近，扶桑开始流行“寺内住宿”和“写经联谊”，以深山古寺为平台，通过对宗教的体验与感悟，给现代人提供一片心灵的乐土。

从西武新宿线电车的饭能站，乘巴士约1个小时，沿溪谷前行直至一个村落，那里是曹洞宗福王山的正觉寺，提供“宿坊坐禅（即留宿）”的服务。

“宿坊”者从下午5点开始坐禅。先通过录像掌握礼法，然后在“住持（寺里的负责人）”的辅导下开始40分钟的打坐。“住持”持棒在打坐者背后走来走去，对不专心致志者“当头棒喝”。

坐禅结束以后，6点钟为“宿坊”者提供素食“药石（晚饭）”，7点“开浴（洗澡）”，9点“开



「宿坊」と「写経合コン」 “寺内住宿”与“写经联谊”

文字难度指数★★★★☆

じ きしょう ぶつぜん せいざ つと おこな
は5時に起床し、仏前で正座してお勤めを行い、それから40分間座禅を組む。「小食」(朝食)後は、正殿で「作務」(掃除)をする。8時半から「般若心経」を唱え、それから写経をする。一時間かけて、一字一句きちんと書く。最後に、お祈りをしたい人は自分の願いを書いて仏前に供え、これで宿坊の生活が終わる。

せかい いさん してい やくし じ しやきようこう
世界遺産に指定されている薬師寺では、「写経合コン」が人気を集めている。参加する若者はまず、「結婚」をテーマとした法話を聞き、それから写経によって心身を落ち着かせた後で、ようやく交流が行われる。多くの人が写経の過程で新たな自分を発見し、煩惱を離れることができるのだそうだ。そのため、写経合コンでカップルになる人が半数を超える。

まず自分をしっかり見つめて、それから穏やかな心で恋人を探す。宿坊も、写経合コンも、現代人に静かな魂の港を提供しようという試みなのである。

枕(就寝)”。次日5点起床，在佛前正座修行，然后是40分钟的早上坐禅。“小食（早饭之后是正殿的“作务（扫除）”。从8点半起，在念过《般若心经》之后，开始写经（手抄佛经），一字一句，规范范地写1个小时。最后，有祈祷心愿者写下自己的祈愿，供在佛前，便可宣告“寺内住宿”的结束。

被指定为世界遗产的奈良药师寺，举行的“写经联谊”，颇受欢迎。参加“联谊”的年轻男女，先要静听以“结婚”为题的佛法，然后通过“写经”让身心平静下来，才可以进行交流。据说有许多人在“写经”过程中重新认识了自己，消除了烦恼。据说通过“写经联谊”而成为情侣的，超过了半数。

首先重新凝视自己，再以平和的心境试着寻找恋人。无论是“寺内住宿”还是“写经联谊”，都在尝试着为现代人提供宁静的心灵港湾。



は ひ キミと羽ばたく日 与你牵手的那一天

文字难度指数★★☆☆☆

わたしはある田舎の高校を卒業し、地元から遠く離れた東京で就職した。

そして一週間前、結婚の約束をしていた同じ会社の彼に突然振られ、実家に戻ることになってしまった。

21歳になる年の春、彼は、私と婚約しているが浮気をして①、その女が妊娠したらしく彼はその女を選んだ。

私たちは、お互いの両親の顔合わせもしていた。婚約指輪ももらった。結婚式場も予約してあった②。けれど彼は、私を選ばなかった。

謝り続けられても、土下座されても、一生許せない。けれどそんな気持ちの中、一部では相手の女が妊娠してくれてよかったと思ってる。だってこんなにもだらしのない男、こっちがいらぬ③。

結婚する前でよかったのがせめての救いだったと、自分に言い聞かせた。それでも、自分に起こった出来事が信じられなくて一気に関口も痩せてしまった。私を見た両親は異様に気をつかってくれた。

「美羽、おかえり。今日はお寿司取ったからね」

お寿司？なんでそんな頼むの④？いつもと同じ、普通のご飯でいいのに。めでたくもないじゃん⑤。

私がこの家を出て、上京した途端、高校の時まで使っていた部屋は物置と化した。けれど、出戻り同然の娘を両親は何も言わず、部屋を片付け空けてくれた。

そんな両親には感謝してる。けど、今の私には良い娘を演じられるほど余裕がなかった。素直になれなかった。

——ピンポン。



我从一个山村的高中毕业后，远离家乡来到东京就业。

一星期前，被已经订了婚的在同一家公司上班的男朋友突然抛弃，就这样，只好决定返回老家了。

那是我27岁那一年的春天。他虽然和我已经订了婚，但是还在外面跟别的女人勾三搭四，听说那个女的怀孕了，于是他就选择了她。

我们俩，连双方的父母都见过了，订婚戒指也拿到了，婚礼的礼堂都预约好了。但是，他却没有选择我。

即使是不断地道歉，即使是跪下来，我也一辈子不会原谅他。不过，有时甚至在想，幸亏那个女的怀孕了。因为，这种不检点的男人我不需要。

我对自己说，幸亏是在结婚前，也算是得救了。尽管如此，由于难以相信所发生的一切，一下子瘦了5公斤，父母因此而寄予了莫大的关心。

“美羽，你回来了。我今天订了寿司。”

寿司？干嘛订那东西呢？跟平常一样吃饭不就行了吗？也没什么喜庆的事。

我离开家到东京不久，自己一直住到高中时的房间就变成了储藏室。但是，就像对待离婚后又回娘家的女儿一样，父母什么也没说，把房间收拾好给我腾了出来。

心中对父母充满了感激。然而，感激归感激，自己却没有心思扮演一个好女儿的形象。因为已无法那么纯真的了。

“叮咚”

“来啦，来啦。”

妈妈吧哒吧哒地趿拉着拖鞋走向玄关。

“您好！”

“哎呀，是翼君你送来的呀。”

「来た来た」

パタパタとスリッパの音をさせて玄関に向かった母。

「こんにちはー」

「あら、翼くんが持ってきてくれたの？」

玄関先から「翼」という名前を聞き、ドキツとした。

私の初恋の男の子だった。

「美羽が帰ってきたのよ」

母が余計なことを言った。

「美羽ー。降りてきなさい。翼くんよ」

私は翼に会いたくなかった。

とりあえずこちに帰ってきて、東京ではない違う町で、すぐにでも就職先を見つけて新しくアパートも探して実家（ココ）からすぐ出るはずだったのに……。仕方なく玄関に出て

「どうも……」

私がよそよそしく挨拶すると

「久しぶりだな」

翼は少し低くなった声で私に言った。

「これ俺が握ったから」

翼は8年間修行をし、つい最近、実家のお寿司屋に帰ってきたと母親から聞いた。

「ふーん。それは私の失恋パーティーにわざわざありがとう」

「失恋……？」

私は翼の顔をまともに見ることができないまま、二階の部屋に閉じこもった。

本当は、修行よく頑張ったねとか、おめでとって言ってあげたかったのに⑥、それがどうしても口に出すことができない。



听到从玄关处传来的“翼”这个名字，我心中咯噔一下。

他是我初恋的男孩子。

“美羽回来了。”

妈妈真是多嘴。

“美羽，你下来吧，是翼君哟。”

我不想见翼君。

本想暂且先回到这里来，在不是东京的不同的城市里，找到工作，重新找一个公寓，立即从家里（这里）搬出去的……。没办法，只好来到玄关。

“你好”

我冷淡地打了个招呼。

“好久不见了。”

他用稍微低沉的声音对我说道。

“这寿司是我做的。”

听妈妈说过，翼经过8年的精心学习，前不久才回到了自家的寿司店。

“谢谢你，特地来为我的失恋派对准备寿司。”

“什么？失恋……？”

我没有正眼看翼，就这么回到了二楼将自己关在了房间里。

本来，是打算跟他说，手艺学得很好啊，或是恭喜你，等等。但不知怎么，竟没有说出口。

翼跟我是邻居，是两小无猜的伙伴，是我初恋的恋人，但翼的初恋不是我。大概是同一个幼儿园的一个名叫由美的女孩子。

小的时候，我理所当然认为，我能够永远和翼在一起。但是随着一天天地长大，我知道这是不可能的。

现在想想，我的那个订了婚的男友在某些方面跟翼是有些相像的。或许在我心灵深处，一直在默默地寻找着跟翼相似的人吧。

然而，翼却不喜欢我。从前是这样，……将来也肯定是这样。也可能谁都不会喜欢我吧，我居然成了悲剧中的女主角了。

喝吧，喝吧。

爸妈为我而订的寿司，初恋情人诚心诚意做的寿司，我却一口也没有吃。如今的我，没有吃的资格。

腹中空空的我，在车站前的一个小酒馆里的柜台前

翼と私は実家が隣同士の幼馴染だった。私の初恋は翼だ。けれど翼の初恋は私ではない。たぶん同じ幼稚園のゆみちゃんという女の子。子供だった私は当たり前のように、いつまでも翼と一緒にいられるものだと思っていた。けれど大人に近づく毎に、それは無理だということを知った。

今思えばあの婚約者だった彼はどこか翼に似ていた。いつも心のどこかで翼と似ている人を探していたのかもしれない。

けれど翼は私を好きにならない⑧。昔も、きつとこれから先も。私は誰からも愛してもらえないんだろうなあ……。なあってね、悲劇のヒロインになってしまった。

飲もう、飲もう。

両親が私のために取ってくれたお寿司、初恋の人が丹精込めて握ってくれたお寿司。私はそれを口にはしなかった。今の私に食べる資格はない。

小腹がすいた私は、駅前の小さな居酒屋のカウンター席で飲んでた。一人でこんな所に入ったのなんて、もちろん初めてだった。

「オネーちゃん、一人か？これ飲む？」

隣に座ったおじさんが、ボトルキープの焼酎を差し出した。

今日は日本酒オンリーだったんだけどなあ……。チャンポンだけど、まっぴい⑨。

「ありがとう」

ゴクゴクとほぼストレートに近いロックを空けた。

「飲みっぷりいいね」⑩

それからどれくらい飲んだんだろう……。

隣のおじさんにお礼を言い、店を出てトボトボ歩いて実家に帰っている。

我推开他的手，逃回自己家里。

我们上的是同一所高中。当然，我为了想和翼上同一所高中，曾拼命地努力学习。但是，即使上了同一所高中，两人的关系仍没有发生变化，仅仅是童年的朋友。而且，翼又喜欢上另一个女孩了，当然不是我。

在高二的时候，我下了决心，跟翼最要好的朋友大地说：

“翼对我有没有那个意思，你拐弯抹角地替我问一下好吗？不过你得给我瞒着，别说是我问的。”

大地说“好啊”，就向翼打听。结果，“翼说了，他和你之间只是童年的两小无猜的朋友。还说，邻居之间太熟悉了，并不是喜欢或不喜欢的关系。产生不了爱情。”

“产生不了爱情。”

从大地那里听来的话，在头脑中转变成翼的声音，就像针扎在我心中一样。

以后，我曾无数次地一直在想过。真想返回到无论是朋友、男朋友、女朋友，这一切都完全没有区别的孩提时代去。

喝酒。独自一人到这样的地方来，当然也是头一次。

“小姐，你一个人吗？喝这个吧？”

一个坐在邻桌的大叔拿出没喝完寄存在酒馆里的白酒。

今天本来只喝日本酒的，虽然两种酒混喝不好，但也将就了吧。

“好的，谢谢！”

将不对水的加冰酒打开了。

“你喝酒的样子很美啊。”

之后，到底喝了多少啊……。

跟邻桌的大叔道了谢，出了酒馆，吧哒吧哒地往家走去。这时，

“美羽……？”

在家的前方，也就是翼家的店门前，我被人喊住了。

“喂，你到底喝了多少啊？”

翼看到我后，可能立刻就注意到我喝醉了，扶着我的肩膀。

“真好管闲事，我不管喝了多少，又没有失去过记忆，也没有吐过。”

「美羽……」
家の手前、つまり翼ん家の店の前で声を掛けられた⑩。

「おい。お前、どれだけ飲んだの？」

翼は私を見てすぐ酔っ払いだと気づいたみたいで、私の肩を支えた。

「うるさいな。私はどれだけ飲んでも記憶をなくしたこともないし⑪、吐いたこともないのよ……」

その手を振り払い、自分の実家へ逃げた。

私たちは同じ高校に進学した。もちろん翼と同じ高校に行きた

いたために⑫、私は必死で勉強したのだ。けれども高校生になつても二人の関係は変わらなかった、ただの幼馴染。そして翼はまた、

私ではない他の誰かを好きになるのだ。

高校3年生の時、意を決して、翼の一番の親友だった大地に

「翼が私のことをどう思っているのか、それとなく聞いてくれる？

⑬でも絶対に私が聞いたことは内緒にして」と頼んだ。

大地は「いいよ」と言っ翼に聞いてくれた。

その結果は

「翼は美羽とはただの幼馴染だって言っった。隣にいるのが当

たり前すぎて、好きだとか嫌いだとかそういう対象じゃない。恋愛

感情なんてわかんないって」

「恋愛感情なんてわかんない」

大地から聞いた言葉が、翼の心に脳内変換されて、私の心を

突き刺した。

何度も。何度も。それからずっと思っていた。友達とか彼氏とか彼

女とか、そんなの全く区別のしなかった幼い頃に戻りたい——って。

与你牵手的那一天

上了三年级，翼的脸庞也有了男子汉模样了，不知何时开始被女生们追捧，以至于在学校都小有名气了。与此同时，我们之间的距离却日益拉大了。

寂寞。身体明明不断地出落成一个大姑娘了，可是他却没有发现到这一点，我在他的眼中就好像一直是个孩子。8年后的今天，翼莫非还不把我当作女人来看吗？在和翼没有见面的时间里，我在用头脑、用心灵、用身体和各种各样的翼所不认识的人交往着。我已经完全长大了。但，尽管如此，还是没有把我当成女人来看吗？

几天后，我在邻县找到了工作。在一家小公司做事务性的工作。面试当天，对方说“希望你能在我公司工作”。听完这话，便径直到了公司附近的房屋中介去，请求寻找立即可以入住的公寓。

这期间，好歹可以不用和翼见面了，再也不回老家（这里）了，再也不要和翼见面了。将翼和那个订了婚的男朋友，统统都忘掉，从头开始，重过自己的人生。我在心里这样暗暗下着决心。

回到家，匆忙地将换洗衣物塞进包里。

“妈妈，急了点，不好意思，我明天就要搬出去了，大行李能给我寄去吗？”

“慢着，我说美羽，你用不着这么急的……。”

我就好像是逃跑似的，离开了这个镇子，也离开了翼。说起来，我当初离开东京的时候，也就是这种心情吧？我到底都在干些什么呀？

换乘电车，然后，就像被吸进去一般，进了新的住处。好在提前从房屋中介公司那里拿到了房门钥匙。

第二天上午。

“叮咚！”

“咦？是不是行李到啦？”

“来了。”

打开房门，翼站在外面。

“你怎么……？”

“我问了大婶。”

妈妈又管闲事了。

“我有话跟你说。”

“啊，请！这房间还什么也没有。”

9年生に上があると、翼はどんどん顔つきも男らしくなり、いつの間にか校内で有名になるほど、女の子にもはやされ、それと同時に私たちの距離も離れていった。

寂しかった。体はどんどん「女」になっていってゐるのに、それに気づいてくれない翼に一人「子供」のまま置いてけぼりにされたみたいだった。翼は、8年経った今も、私を女として見られないのですか？翼と会っていない間にいろんなことを翼の知らない人と頭で、心で、体で、覚えてしまったよ。大人になってしまったよ——。

それでも、私を女として見れないのですか？

数日後、私は地元よりずっと町の隣の県で再就職先を見つけた。小さな会社の事務職。面接のその日に「是非うちで働いてほしい」と言われ、すぐその足で⑭就職先近くの不動産屋に向かい「即入居OK」という所を探してもらった。

その間、翼とはどうにか会わずにいたことができた⑮。もう地元（ココ）には戻らない。翼には二度と会わない。翼のことも、それから婚約者だった彼のことすべて忘れて一から人生をやり直そう。私は心に誓った。

家に戻り、急いで着替えをバッグに詰めた。

「お母さん。急だけど、明日ここを出て行くよ。悪いけど大きい荷物は送ってくれる？」

「ちよつと、美羽！？何もそんなに急がなくても……」

私は逃げるようにこの町から出た。翼からも。そう言えば東京を出る時も、こんなふう思ったんだっけ⑯。私は一体何をしてるんだろ……。

電車を乗り継ぎ、吸い込まれるように新しい私の住処に入った。不動産屋さんから先に鍵もらっておいでよかった。

LOVE is...

は ひ キミと羽ばたく日

“还真的是啊。”

说是有话跟我讲，到底什么事啊？我不知道翼到底在想些什么。我将放在厨房台子上常温塑料瓶中的茶递给了翼。

“对不起，只有这个了。”

“谢谢！可是，你连被子也没有，昨天是怎么过来的？”

“就在地板上睡了一夜。”

“你真厉害。”

翼笑了。

我经常是这样的，你不就是这么看我的吗？你不是不把我当作女孩子来看待的吗？

“你，怎么啦？”

“啊，我想为上次的事，向你道歉。”

翼居然还说道歉，真稀罕。以他的性格，无论什么时候，都是说“我没错”。

“你说的上次是？”

我似乎明白了，但还是这么问他。

“就是你喝醉了回家那一天的事。”

“没关系的，是为这点儿事特意跑过来的吗？那你的店呢？”

“是店休日。”

“是吗？”

“你喝醉回家的那一天，我扶了一下你的肩膀，真是吃了一惊。心想你怎么瘦成这样了？今天早上我跑步跑到你家附近，正好碰到了你妈妈。我就问了一下你的情况。”

“我妈妈总是跟你说些多余的话。”

“不，不是的。大婶还跟我说了，说‘我要是说了，美羽会生气的’但我还是求她务必告诉我，告诉我你回来的原因。”

“原来是这样啊。”

“我也不知道美羽你是由于那个原因回来的，所以就那样地……。美羽，驾车往这边来的路上，回想起了八年前你离家时的情景。”

翼一句一句一边回忆着一边说起来。

翌日のお昼前。

——ピンポン。

「あれ？荷物もう来たのかな」

「はい」

玄関を開けるとそこには翼がいた…。

「なんで…？」

「おばさんに聞いた」

お母さん、また余計なこと言ったな。

「話があるんだけど…」

「あ…、どうぞ。まだ何も無い部屋だけど」

「ホントだな」

話ってなんだろう。私は翼が考えていることが全くわからなかった。

キッチンの台に置いてあった、常温のペットボトルのお茶を翼に渡した。

「ごめんね、こんなしかない」

「サンキュ、しかし布団もないのに、昨日どうしたの？」

「床に転がって寝た」

「強えー」⑦

翼は笑った。いつもそうだったよね。私のこと、そうやって見るんだよね。

ね。女の子として見てくれないよね。

「で、どうしたの？」

「あ…この間のこと謝ろうと思って…」

翼が謝るだなんて珍しい。いつだって「俺は間違っていない」っていう性格だったのに。

「この間って？」⑧

「なんともわかったけど、そう返した。」

「美羽が飲んで帰ってきた日のコト…」

“大地没那么对我说，他说你对我产生不了爱情。”

“那种话我可是一句也没有说。”

“真……的吗？”

“真的。莫非大地也喜欢上你了？”

“不会吧。”

“大地没有对美羽你说过些什么吗？”

“没有啊。”

我这么说完，马上想起一件事情。

“说起来，高三最后一天的篝火晚会上，大家跳舞都是成双成对的，只是我一个人孤零零的。大地抓住我的手，在跳舞时，对我说：‘你别要翼了，要我吧。’”

“是我因为发烧而提前退场那一次吧，就在那之后的事吧？你是怎么回答他的？”

“我说对不起，就跑开躲到校舍里去了。”

“啊，大地真够可怜的。”

可怜？听完翼的话，瞬间，我眼泪不由得涌出来。

“你……可别那么说了。那时候，我……只能那么做了。我认为……我是最可怜的人了。我想，大地为什么不是翼呢。我一直在一个人……哭着呢。”

因为流着眼泪，有些语无伦次了。想说的话都表达

“美羽你去东京的那一天，什么也没有告诉我吧？”

我还是从我妈妈那里听到了‘听说今天到东京去了’这句话，当时还心想着，怎么也不告诉我一声呢。在毕业典礼的时候，我还委托大地说，‘请转告美羽，毕业典礼后请她到房顶平台上来’。不过，大地告诉我‘美羽不愿意来’。我心里还受到了很大的打击呢。”

“你等一等，毕业典礼？我没听到这一说啊。”

“什么？”

难不成大地他……

“我说，大地可曾跟你说起过，你觉得我这个人怎么样这样的话？”

“说过啊。”

“那你是怎么回答他的？”

“我说，我喜欢美羽。”

“你骗人！”

“没骗你，我一直只喜欢美羽你，不过，那个时候，没能说出口。我们离的那么近嘛，于是就打算在毕业典礼那天说。”

我们的声音越来越大，在空荡荡的房子里回响着。

「いいよ、別に。そんなことでわざわざ来たの？お店は？」
「定休日」

「そっか」

「美羽が酔っ払って帰ってきた日、俺はお前の肩を触ってびつくりしたよ。こんなに細かったかなって……」^①今朝近所走ってたら、ちょうど美羽のおばさんに会って、美羽のことを聞いてさ」

「うちのお母さんっていつも翼に余計なこと言うよね」

「ううん、違う。おばさんは『うとと美羽に怒られるから』って言うってたけど、俺がどうしても教えてほしいって頼み込んだんだよ。美羽が帰って来た理由を」

「そうなんだ」

「俺は美羽がそんな理由でこっちに帰って来たことも知らないで。だから、あんなふう……美羽。俺ね、こっちに向かう運転中に、8年前美羽がいなくなった日のことを思い出したんだ」

翼は一句、一句かみ締めながら話した。

「美羽が東京へ行く日、俺に何も言わなかっただろ。自分の母親からきょうとうきよう」

『今日東京に行ったんだって』って聞いた時、なんで教えてくれなかったんだらうって思った。卒業式の時もさ、大地に『美羽に卒業式の後、屋上に来てほしい』って伝えてって頼んだじゃん^②？でも大地に『美羽、行かないってさ』って言われて、すげーショックだった」^③

「ちよっと待って！卒業式！？私そんなの聞いてないよ」

「え？」

もしかして大地……。

「ねー。大地に私の事どう思ってるか聞かれたことある？」

「あるよ」

「なんて答えた？」^④



不出来了。

“美羽……”

翼用手指替我擦掉脸上的泪水。事到如今，终于了解到了事情的真相。一切都是大地造成的。一瞬间，虽然这么想了，但是凭心而论，事情也并非如此，假如当时互相不那么倔强……。

“现在大地在做什么呢？”

“他呀，在做自由摄影师。好像都是拍些天空的照片。现在不知道在哪个国家，但是常常寄些当地的明信片来。”

“原来这样啊。”

大地也实现了他的梦想。他家里就是开照相馆的，从小就曾听说，他在摆弄照相机。不知为何，总是在我寂寞的时候被大地发现，放学后，就带我去高台上、堤坝上、海岸边……，到各种地方去看日落。大地说最喜欢的是从高架桥上所看到的雨后晚霞的天空，这种情景我也十分最喜欢。大地就笑着说：“咱们一样啊。”

他也肯定跟我一样，感受着不能表达爱意的寂寞。大地……，我至今仍能清楚地记得和他一起看的晚霞。他对我的笑，他留心我的寂寞，都是由于喜欢我，因而

经常关照我的吧……？如今我终于明白了。

“翼，你明明喜欢我，可为什么老是跟别的女孩子那么亲热？”

“那个呀，是因为想让你吃醋嘛，我还是个毛孩子呢。”

“你也太糊涂了，我根本就不知道那回事，还特地离开你，离开家到东京去，而且还打算跟别人结婚呢。结果，分手了。”

“对不起，对不起，你很难过吧？”

翼说“好啦好啦”抚摸着我的头安慰我。小时候，我一哭，翼也经常这样来抚摩我的。

“嗯。”

“是吗？不过，现在好啦。这么一来，终于又能够来到我的身边了。你喜欢我吗？”

“嗯……，现在还喜欢呢。”

翼脸上欣喜万分，他吻了我。这是我一直梦寐以求的事。翼会这样可爱地吻我。

迄今为止，我又跟多少人有过这种经历呢？想他跟我好起来，但终究没能跟我好起来。明明在小时候就手拉手去幼儿园的……。不知从何时开始，翼就开始不对

「美羽のことが好きだって——」

「うそ」

「うそじゃねーよ、俺はずっと美羽のことだけが好きだったんだ。けどあの頃はそんなコト言えなかった。近すぎたんだよ、俺らの距離は。だから卒業式の日に言おうとしたんだよ」

「うそじゃねーよ、俺はずっと美羽のことだけが好きだったんだ。けどあの頃はそんなコト言えなかった。近すぎたんだよ、俺らの距離は。だから卒業式の日に言おうとしたんだよ」

「大地はそんなこと言ってなかった。翼は私に恋愛感情なんてわかないって言うって」

「大地はそんなこと言ってなかった。翼は私に恋愛感情なんてわかないって言うって」

「俺はそんなこと一言も言っていない！」

「本当……に……？」

「本当だよ。……もしかしたら大地も美羽のことが好きだったのかな」

「まさか……」

「美羽は大地に何か言われたことない？」

「ないよ」

と口にした瞬間、思い出した。

「そう言えば、高のの後夜祭の時ダンスでみんなペア作ってるのに私だけ一人ぼっちで、大地が私の手を取ってくれてそのダンスの途中『翼じゃなくて俺にしなよ』って言われたよ……」²³

「それって俺が熱出して早退した時じゃん。で、何て答えたの？」

「ごめんねって、走って校舎に隠れた」

「わー、大地かわいいそう」

「かわいいそう？ 翼の言葉を聞いた瞬間、涙があふれてポロポロこぼれ落ちた。」

「そんなふう……に言わないでよ……。あの時は……そうするしかできなかったんだ。自分分が……一番……かわいいそうだと……思ってたし……。大地はどうして翼じゃないんだろって……ずっと……」

涙で言葉が思うように出なくて。言いたいことがうまく言えなかった。



我好了。然而，如今终于……

“时至今日，我的初恋还是美羽你啊。”

“哦？不是由美吗？”

“谁？由美？我不记得了。”

“想想看，在同一个幼儿园的……”

“啊……？想不起来了。”

看来，还是我从幼儿园时就错怪他了。我到底怎样看了翼啊？

“喂，翼。”

“嗯？”

“我可以这样抓着手吗？你可不要背叛我啊。我不想再受到伤害了。”

“你放心吧，相信我好了。”

翼用力地回握着我的手。

“你吃寿司吗？卷的寿司。”

“嗯。”

掏出了放在保鲜冷却包中的寿司。

“那我吃了。”

我将最喜爱的人只为我而做的寿司放进口中。

“好吃吗？”

“嗯！”

眼泪再次涌了出来，嗓子深处哽咽着，实际上并没有尝出什么味道。不过，我品尝到了凝聚着的爱情的味道。

“你学手艺，很辛苦吧？”

“还好。”

“真了不起，够努力的。”

“谢谢。”

没能说的话，终于可以坦诚地说出来了。

“美羽呀，你当我们家寿司店的年轻老板娘吧。”

“不。”